

一般社団法人

日本脳卒中リハビリテーション先進医療研究会

発症前と同じ生活を、あなたに！

Together with You



設立の想い

発症前と同じ生活を、あなたに！

あなたは、1日9分のリハビリで治ると思いますか？

俺は、まだまだ働かないといけないんだ！

家族を食わせないといけないんだよ、先生！

家族の負担になるくらいなら死んだ方がましだ！

何としても以前の生活を取り戻さないといけないんだ！

苦しくてもやるから、もっとリハビリさせてくれないか？

他にも、治る方法はないのかい？

と、42歳で働き盛りの患者様から
切実な訴えを、リハビリ科の若き医師はきいた。

その人は、営業職で
専業主婦の奥様と、高3の息子さん、中2の娘さんがいる。

ところが、国の医療・介護制度では制限がある。
1か月、最長260分！ 一日あたり、わずかに9分弱！

家に帰って、ベッドに入ると
その人の声が頭の中でこだまする。

このような人は、ひとりではない。

リハビリをきちんと行えば、それだけでも
かなりの効果を期待できる。

国の保険では、そこまではできない。

どうしても治して、会社復帰したい！
元の生活を取り戻したい！

という切実な方のために

懇切・親身なりハビリ、最先端の医療、
最新のリハビリ機器を組み合わせた

絶大な効果をもたらすことができる
リハビリを提供できないか！

というのが、我々の原点です。

私たちは、脳卒中の後遺症に悩まれている 患者様の希望を叶えたい、ご家族の願いに応えたい！ との思いから起業に至りました。



- なぜ社会復帰できなかったのか？
- 何が問題なのか？

を、徹底的に考えました。

- ・リハビリ専門医の先生、
- ・現場を預かる経験豊かな理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
- ・退院後について、ご本人・ご家族の相談にのる医療ソーシャルワーカー
- ・さらに、最近注目されている再生医療の先生から

問題点を、意見を集約しました。

【リハビリ専門医からの意見】

- 患者様によかれと思っても、保険診療の壁に阻まれて効果のでるリハビリを思う存分計画に取り入れることができないこと。



保険診療には、制約が多いのが実情です。

- 「川平法・促通反復療法」でNHKスペシャルにも取り上げられ尊敬するリハビリの第一人者の川平和美先生が近年研究されて劇的な効果が期待できる「再生医療」を施術してあげられたら…

- ロボットスーツHALが、脳血管障害後遺症にはまだ、保険で治療できないが残念です。

HALを使ってあげたかったな！



- そもそも、リハビリ専門医が少ないですね。ほとんどが急性期、回復期の病院にいて退院すると、十分なリハビリが行われてると思えません。

【現場の理学療法士から】

- 麻痺のリハビリは集中して行いたい。

個室であれば、集中してリハビリできるんですが…

- 病院では、リハビリ60分といえども付きっきりではないので

理学療法士が一人の患者様に対し正味15分になってしまう
これでは、十分な効果はだせない。

- ご家族からも掛け持ちでやるのではなく時間内は、専属でできないの？と、言われてしまう。

- 患者様は、病院というだけで緊張してしまいますよね、

リラックス&集中できる環境が理想ですね。

やはり、我々が患者様のご自宅に伺えば結果が出るリハビリになると思います。



【ご家族の相談窓口の医療ソーシャルワーカーから】

- 脳卒中で入院された直後にご自宅に戻るか、介護施設に送るかという、厳しい決断を迫らなければならないんです。

限られた入院期間なので…

しかし、私たち以上に、ご家族が悩まれます。

患者様ご本人も、口が不自由ですしご家族に気兼ねして、言えないんですよね。

それを、察して、ご家族、ご本人にあった施設はないかな？ と気を使っています。

- 重度の方の場合は、近所の施設が見つからず、100km、150kmと見舞いにいけないような遠方の施設しか入れない場合があります。

そのような施設では、寝たきり状態になるためご本人の意識がある場合は、私の方が、泣きたくなります。



再生医療をはじめきちんとリハビリすれば回復することもあるのに、残念です。

皆さん、治ることを知らないままリハビリを諦めているのではないのでしょうか。

リハビリ難民の望み

私たちは、患者様の希望を叶えたい、希望に応えたいから想いで起業に至りました。



【深刻な20～30代の患者】介護保険サービスでのリハビリができない！費用が深刻！

- 【40代男性】 一家の大黒柱、住宅ローンも残ってる、是が非でも職場復帰したい！
- 【40代男性】 会社から半年の猶予をもらえた、ぜひ元の職場に復帰したい！！
- 【50代男性】 取引銀行に脳卒中での入院を知られると、
「貸し剥がし」そして倒産の恐れがあるので、秘密にして必死にリハビリ続けた。
- 【50代男性】 半年後の娘の結婚式に杖や装具に頼ることなく、自分の脚で歩いて出席したい！
- 【30代主婦】 育児、家事ができるようになりたい、このまま子供達の「お荷物」になりたくない！
- 【40代主婦】 私の聖域、台所に立ちたい！包丁も握れない、情けない、死にたい！

**私たちは、この現役労働世代の【改善をあきらめたくない】
というニーズ、希望に応えたい！！**

リハビリ難民問題の解決策

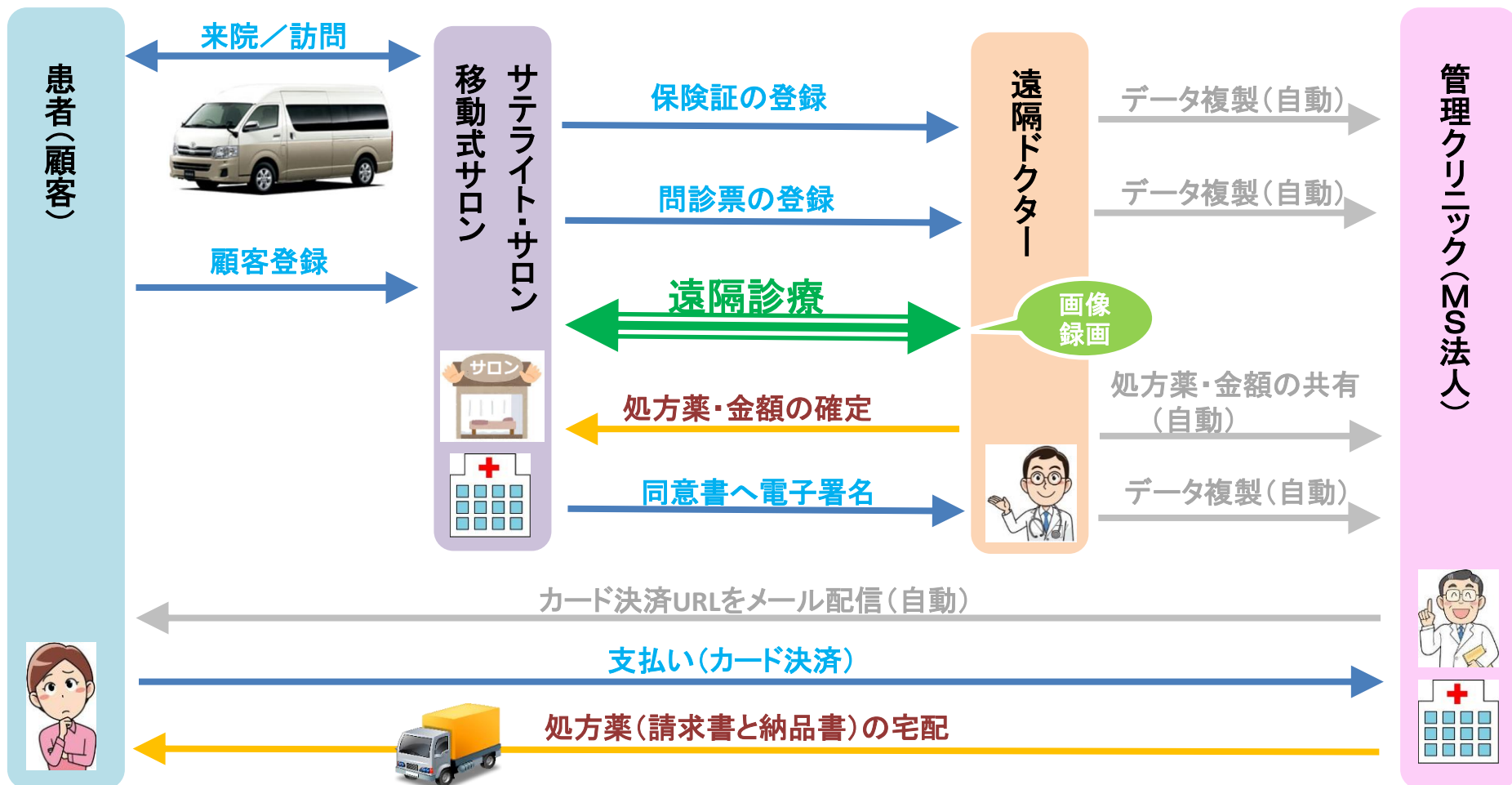


理学療法士が訪問します！ 移動式サロンがあります



経験豊富なリハビリ医師によるサポート(遠隔診療システム)

(患者のアクション: → 医師クリニックのアクション: → 自動システムによる: →)



全国の移動式サロン、サテライトサロンのサポート体制！

【再生医療の医師から】 あきらめるのはまだ早い！

入院直後につらい選択を強いられ、麻痺のショックから立ち直れないままリハビリする気力が萎える方々が大勢います。

今は、かつてなかった**再生医療という強力な武器**があることを、知ってほしいと思います。

リハビリ医＋理学療法士の施術に、再生医療を組み合わせることで今までにない劇的な効果が見込めます。

回復の見込みがあれば、つらい期間も乗り越えられるのではないのでしょうか。

再生医療がある今、職場復帰も夢ではありません。
あきらめかけた手料理をすることもできるようになります。

また、ご家族のつらい介護の負担も軽減されます。

この情報を知ってる方と、知らない方の未来は圧倒的に違います。

私たちは、**理学療法士が、ご自宅に訪問しリハビリを行い再生医療を提供することで、**
夢のような治療効果を上げ、**社会復帰を果たせるよう、この仕組みを整えました。**

また、「自宅はちょっと…」と思われる方には、
移動式サロンもありますので、お気兼ねなくリハビリを受けられます。

訪問ならば、**通院する負担も軽減され、時間も節約**できます。

今まで、目を離せない患者様に気を遣いながら、
忙しい合間に、買い物などの用事を済ませなければならなかった
ご家族の皆様の心労から解放して差し上げたいと思っております。

私どもに、お気軽にお問い合わせください。会員の理学療法士がいるサロンをご紹介します。

